年間授業計画　新様式例

高等学校　令和４年度（１学年用）　教科　　国語　　　　　　科目　言語文化

教　科：　国語　　　　　　　　　　科　目：　言語文化　　　　　　　　　　単位数：　　3　　単位

対象学年組：第　 1 学年　 A 組～　 G 組

教科担当者：（　A組：菊山　）　（　B組：渡辺（久）（　C組：菊山　）　（　D組：金澤　）　（　E組：金澤　　）(　F組：渡辺（久））
（　G組：菊山　）

使用教科書：（　第一学習社「高等学校　言語文化」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

教科　国語　　　　　　　　　　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】社会生活に必要な知識・技能を身につけると共に、言語文化への理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力を鍛え、豊かな想像力を育み、他者と互いに考えを伝え合う力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い読書を通して自己を向上させ、言葉を通して社会との関りを深める。

科目　言語文化　　　　　　　　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A『児のそら寝』 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。 ・用言の活用について理解する。	指導事項…主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・教材『児のそら寝』 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。	○			8
	B『羅生門』 【知識及び技能】 語句・語彙の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 老婆の下人への影響を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉える。	・指導事項…下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉える。 ・教材『羅生門』 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識及び技能】 ・語句・語彙の意味や背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行動や心理を基に場面の展開を捉え、老婆が下人に与えた影響を読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	C『訓読に親しむ』 【知識及び技能】 ・漢文訓読の基礎を身につける。	・指導事項…漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・教材『訓読に親しむ』 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・返り点および書き下し文の知識が身についている。	○			6
	D『竹取物語』 【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	・指導事項…作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・教材『竹取物語』 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。		○		8
	E『狐借虎威』『蛇足』 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	指導事項…故事成語の由来となった話を読み、古典と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材『狐借虎威』『蛇足』 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。			○	9
	定期考査						○	○		1
2学期	F『夢十夜』 【学びに向かう力、人間性等】 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとする。	・指導事項…「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・教材…『夢十夜』 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【学びに向かう力、人間性等】 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとしている。			○	8
	G『芥川』『東下り』 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中における和歌の役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・内容や展開を的確に捉え、作品のものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	・指導事項…話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・教材…『芥川』『東下り』 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。		○	○	10
	定期考査						○	○		1
	H『先従隗始』 【知識及び技能】 ・訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の	・指導事項…訓読のきまりを理解すると共に、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。 ・教材『先従隗始』（十八史略） ・一人１台端末の活用　等	○		○	【知識及び技能】 ・訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解いている。	○	○		8

	知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。					ている。				
	I『土佐日記』 【知識及び技能】 ・文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。	・指導事項…記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 ・教材『土佐日記』 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解いている。				8
	J『徒然草』 【思考力、判断力、表現力等】 ・作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。	・指導事項…作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・教材『徒然草』 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。		○		7
	定期考査			○	○		○	○		1
３学期	K『平家物語』 【知識及び技能】 ・文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。	・指導事項…合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・教材…『平家物語』 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。	○	○		7
	L『唐詩の世界』 【知識及び技能】訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、そこに込められた思いを読み取る。	・指導事項…表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・教材『唐詩の世界』　等 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【知識及び技能】 ・訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。	○	○		8
	M『その子二十』 【学びに向かう力、人間性等】 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しむ。 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。	指導事項…我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・教材『その子二十』 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	【学びに向かう力、人間性等】 ・短歌や俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。			○	6
	定期考査						○	○		1
										合計 105